

<はじめに>

秋学期が終了し、冬休みの中この報告書を書いています。気温はぐっと下がり、-10度~-20度の間を変動する日々が増えてきました。先輩方がいっていたように、寒いというより痛いという感じがします。この寒さに圧倒された私は暖かい所を求めニューオリンズへ旅行し、その後シカゴにホームステイをしました。今回の報告では、クリスマスと旅行でしたことについて報告したいと思います。

<冬休み中のイリノイ大学周辺>

冬休み中のイリノイ大学は多くの寮が閉鎖されるため人の姿がなくなります。マクドナルドやバスでさえも営業を停止しており、不便な生活を送らなければなりません。開いているお店もあるのですが、営業時間が大変短くなっており機会を逃すとご飯を食べる事ができません。

<クリスマスパーティ>

クリスマスは教会グループのクリスマスパーティに参加してきました。様々なゲームやクリスマスプレゼント交換をして楽しくすごしました。私はプレゼントでゴミ箱をもらいました。



頭の上で絵を書くゲーム



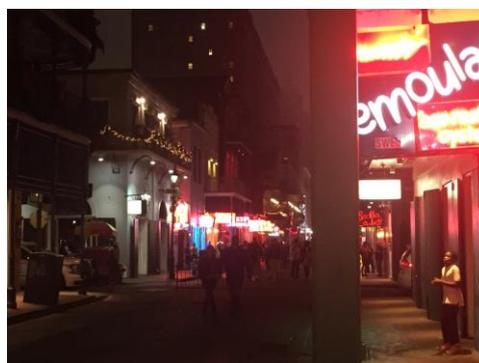
記念写真

<ニューオリンズへ旅行>

上記に記したように、イリノイ大学の冬はとても寒く、街は閑散としているため、暖かいところを求めにニューオリンズに行きました。ニューオリンズはレイジアナ州南部にある同州最大の年で、メキシコ湾の近くにあります。大学からアムトラックと言われる寝台列車を使いニューオリンズへ向かいました。Couch seatをとったため、中々寝れず、地獄の17時間でした。しかし、着いてすぐジャズを聞きながら美味しいシーフードと食べると、疲労はとれ満足した旅行をすごせました。ニューオリンズはジャズが誕生したと場所と言われており、街の至る所でジャズが鳴っていました。他に動物園やディズニーランドの基になったと言われていたフレンチクォーターを観光してきました。



フレンチクォーターの公園



夜のダウンタウン

<シカゴへのホームステイ>

ニューオリンズで過ごした後は、19時間アムトラックに乗りシカゴへホームステイをしにいきました。このホストファミリーは金沢工業大学の同じプログラムで留学している鈴木さんの友達のご家族で、私とはこれまで面識がなかったのですが、とても暖かく迎え入れてくださり、楽しい時間を過ごせました。実際にホームステイしてみても、食事や家族同士のコミュニケーションの取り方等の文化の違いが知れたことは大変貴重な経験になりました。冷蔵庫も大変大きく、どれだけハムを食べてもまだまだ出てくるアメリカの食生活は大変楽しかったです。



クラウドゲート



自家製ターキー

<おわりに>

もう留学の半分以上が過ぎてしまったと思うと、時間の経つはやさを感じます。留学して何が成長したのかまだ掴めませんが、あんまり言葉が話せなくても億劫にならない心はできてきたと思います。春学期は秋学期よりは英語に慣れたと思うのでディスカッションがある授業を積極的に取ってほしいと思います。これで1月の報告を終わります。